まちの話題

キャプテン柴田晋太郎選手（深江町出身）大活躍
夏の甲子園 長崎県勢31年ぶりのベスト4

▲甲子園でプレーする柴田選手

▲阪神タイガースの野原選手（有家町出身）も母校の応援にかけつけました。

高校野球選手の夢の舞台「甲子園」。今年開催された「第89回全国高校野球選手権大会」に、本市深江町出身の柴田晋太郎選手が本県代表長崎日大高校のキャプテンとして出場しました。

小学校時代からソフトボールを始めた柴田選手は、中学で野球の世界へ。その後甲子園出場を夢に野球の名門校へ進学しました。その際、野球選手としては小柄な柴田選手に、父・勝文さんが贈った言葉は「気持ちで負けるな」。持ち前の明るさと周囲から頼られる人柄がいつしか彼をキャプテンの座に。80名を越える部員をまとめ上げ、甲子園出場を手にしました。

９番・サードで先発出場した柴田選手は全ての試合でヒットを打つなど、走・攻・守で大活躍。日大の快進撃は続き、長崎県勢31年ぶりの準決勝進出を果たしました。

スター選手、大物選手が居並ぶ大舞台で、地元出身選手のキラリと光る活躍は、『夢はかなう！』という気持ちにさせてくれました。

めざせ未来のＪリーガーへ！ 第1回 南島原市サッカーフェスティバル

９月１日から２日にかけ、島原半島南部小学校のサッカー活動の活性化を促進し、子どもたちが競技を通してお互いの技術を競い合いながら、親睦を深めることなどを目的とした「第１回南島原市サッカーフェスティバル」が開催されました。

今回初めての開催となる大会には、南島原市をはじめ雲仙市や島原市のチームなど、合わせて21チームが参加。会場となった北有馬ふれあい交流広場および有馬小学校グラウンドで未来のＪリーガーが熱戦を繰り広げました。

▲Ａクラスの部優勝：ＦＣありまチーム

▲Ｂクラスの部優勝：有明ジュニアＦＣチーム

▲Ｃクラスの部優勝：ＦＣ西有家ジュニアチーム

第１回 南島原市サッカーフェスティバル 大会結果

◆Ａクラス
優　　勝　ＦＣありまチーム
準 優 勝　ＦＣ西有家チーム
第 ３ 位　有明ジュニアＦＣチーム
最優秀選手　井村 圭佑君（ＦＣありまチーム）

◆Ｂクラス
優　　勝　有明ジュニアＦＣチーム
準 優 勝　深江ＳＳＳチーム
第 ３ 位　南串山ＳＳチーム
最優秀選手　松本 涼佑君（有明ジュニアＦＣチーム）

◆Ｃクラス
優　　勝　ＦＣ西有家ジュニアチーム
準 優 勝　有明ジュニアＦＣチーム
第 ３ 位　口之津ＳＣチーム
最優秀選手　田中 舜也君（ＦＣ西有家ジュニアチーム）

九州を制覇　全九州空手道選手権大会優勝

第33回全九州空手道選手権大会が、７月末に大分県中津市で開かれ、長崎県の代表選手として南有馬町の宮川源太さんが出場しました。

これまでも数々の大会で優勝経験のある宮川さんは、県予選を勝ち抜き出場権を獲得。臨んだ全九州大会「成年男子組手個人戦中量級」で見事優勝しました。

宮川さんは現在、国体に向けさらなる練習に励んでいます。国体での好結果ご報告をお待ちしています。

▲宮川源太さん（右）と監督であり父の誠悟さん（左）

「我が子は自分が育てる」気持ちで
第１回「家庭教育講座」

南島原市教育の基本計画である「あこうプラン」の一環としての「家庭教育講座」が８月29日から９月７日まで、市内８カ町を４地区に分け開催されました。

「親としての役割を全うし、我が子に“善き人格”を育む」をテーマとした今回の講座には、市内の幼児・小学生・中学生の保護者や先生が参加しました。

９月７日㈮、深江ふるさと伝承館で行われた講座では、西有家町の助産師中村まり子さんが「愛されるために生まれてきた子どもたち」と題し、子どもに目を向ける大切さを話しました。印象的だったのは、「尻上がり言葉の大切さ」ということで、「だいじょうぶ？⤴」などの問いかけの言葉はコミュニケーションを図るうえでとても大切。反対に×なのは「尻下がり言葉」で、「なんばしよっとね⤵」とか「うるさい⤵」などのはねつけ口調だそうです。皆さんも心当たりはありませんか？

▲家庭教育講座　講 師
助産師：中村まり子さん
（西有家町）

▲パネルディスカッションのようす

本場の味を直伝！　中国円卓会で餃子づくり

南島原市の国際交流員　于舟（うしゅう）さんによる「中国円卓会」が、９月12日㈬、有家保健センターであり、２回目にあたる今回は中国の食文化に触れる事を目的に餃子づくりが行われました。私たちになじみが深いのは『焼き餃子』ですが、中国で餃子といえば『水餃子』を意味するそうで、今回はもちろん『水餃子』づくりと試食会。

今回は料理の于先生の指導のもと、餃子の皮から手作り開始。参加者は（意外にも？）手慣れた手つきでその味と技を習得。ほかに、卵とトマトの中華炒めも伝授。ご飯にのせて食べました。

食事会では、広東・四川・上海など中国の有名料理の特徴を話しながら、参加者は本場の味に舌鼓しました。

砂浜の熱き戦い！
南島原 ありえ浜んこらCUP開催

８月26日㈰、マリンパークありえで、「南島原　ビーチバレーボール大会　ありえ浜んこらＣＵＰ」（南島原市バレーボール協会主催）が開催され、大会には、市内はもとより遠くは福岡市からの参加を得て、23チームによる熱戦を繰り広げました。

この大会は、ビーチバレーの普及と愛好者の交流を目的として開催さており、夏の強い日差しのなか、体育館とは違う砂浜のコートで、悪戦苦闘しながら、ボールを追いかけました。大会には、南島原市内の11チームも参加しましたが、予選リーグを勝ち抜き、トーナメント戦を制覇したのは福岡市から参加した「りんりんりんチーム」。戦い終えた選手たちのすがすがしい笑顔は、夏の青空にピッタリでした。